



平成30年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年4月26日

上場会社名 株式会社キングジム 上場取引所 東
 コード番号 7962 URL http://www.kingjim.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883
 四半期報告書提出予定日 平成30年4月26日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績(平成29年6月21日～平成30年3月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	25,456	1.0	1,514	25.2	1,652	24.1	1,158	36.6
29年6月期第3四半期	25,207	0.9	1,209	53.0	1,330	56.3	848	43.5

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 1,506百万円(28.6%) 29年6月期第3四半期 1,171百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	40.77	40.64
29年6月期第3四半期	29.84	29.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年6月期第3四半期	29,754	21,521	71.2	744.95
29年6月期	26,971	20,564	75.1	712.89

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 21,173百万円 29年6月期 20,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	7.00	—	13.00	20.00
30年6月期	—	7.00	—		
30年6月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年6月期期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 創業90周年記念配当 6円00銭

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年6月21日～平成30年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	4.0	1,670	1.8	1,860	1.7	1,260	4.7	44.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年6月期3Q	32,459,692株	29年6月期	32,459,692株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年6月期3Q	4,037,123株	29年6月期	4,036,993株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年6月期3Q	28,422,628株	29年6月期3Q	28,422,814株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景に、設備投資の持ち直しや、雇用・所得環境にも明るい兆しがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループでは数多くの新製品を発売し、新たな市場の創出と獲得に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は 254億5,668万円（前年同期比 1.0%増）となりました。利益面では、売上原価率の低減等により、営業利益は 15億1,474万円（前年同期比 25.2%増）、経常利益は 16億5,219万円（前年同期比 24.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 11億5,877万円（前年同期比 36.6%増）となりました。

平成29年12月には、前年に続き、キングジムグループ各社の商品を集めた展示イベント「キングジムフェア2017」をベルサール秋葉原にて開催いたしました。今回は、開催日数を、前年の2日間から3日間に拡大したこともあり、2万人を超えるお客様にご来場いただき、当社グループ商品をご体感いただくことができました。

今後も、このようなイベントを通じて市場への一層の浸透を図り、需要の拡大に取り組んでまいります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「インテリアライフスタイル事業」に含めていた当社の連結子会社である錦宮（香港）有限公司は、「文具事務用品事業」に区分を変更しております。

前年同期との比較は、変更後の区分に基づいております。

① 文具事務用品事業

ステーションナリーにおきましては、かさばらないバッグインバッグ「フラッティ」や、ファイルに書類を入れたまま書き込むことができるクリアファイル「カキコ」を発売し、ご好評をいただいております。また、質と機能にこだわったファイルシリーズ「フェイバリッツ」や、大・小2つのサイズのペンケースがマグネットで一体になる「イツイ」を発売いたしました。

電子製品におきましては、平成25年に発売したガーリー「テプラ」に、大幅なスペックアップとデザイン刷新を行ったSR-GL2を発売いたしました。また、コールセンターや受付窓口での使用で高いご支持をいただいている「ブギーボード」シリーズに、見やすい液晶の大画面モデルBB-9と、お手軽価格のシンプルモデルBB-1GX、グリップが持ちやすい横型モデルBB-10を発売いたしました。その他、一人で外出した際、カフェなどで荷物を置いたまま離席するときに、荷物を見守ってくれるモニタリングアラーム「トレネ」を平成30年2月に発売いたしました。本製品は、当社初の試みとして、クラウドファンディングを活用した製品であります。オフィス環境改善用品では、デスクの引き出しに取り付ける、新しいタイプの収納用品「デスクポケット」や、空いたスペースにマグネットで棚を簡単に取り付けられる「マグトレ」を発売した他、デスクの上を効率的に整理できる収納棚「デスクボード」シリーズに、木製タイプを追加いたしました。

この結果、売上高は 197億5,608万円（前年同期比 0.6%増）、営業利益は、売上原価や販売費及び一般管理費の減少により 14億1,964万円（前年同期比 40.1%増）となりました。

② インテリアライフスタイル事業

㈱ぼん家具では、ロフト付ベッドや折りたたみベッド、ソファベッドなど、春の新生活需要にあわせた新商品ラインアップを拡充させるとともに、楽天、Amazon、Yahoo!ショッピングで開催された各種セールにおいて、値下げセール、クーポン配布、ポイント付与などを実施し、拡販してまいりました。㈱アスカ商会では、高品質なアーティフィシャル・フラワーの商品拡充を図るとともに、東京営業所および東京ショールームを代々木から品川へ移転し、展示商品の販売を実施することで拡販を図ってまいりました。㈱ラドンナでは、フォトフレームにおいて、インテリア性の高い製品の拡充を図り、拡販してまいりました。また、自社ブランドの「Toffy」シリーズにつきましては、キッチン家電の新商品を投入し、シリーズとしての拡充を図ってまいりました。

この結果、売上高は 57億60万円（前年同期比 2.5%増）、営業利益は、販促費や運賃等の増加による販売費及び一般管理費の増加により 7,623万円（前年同期比 58.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して、27億8,346万円増加し、297億5,482万円となりました。これは主に、文具事務用品事業の需要期により、受取手形及び売掛金や商品及び製品が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、18億2,688万円増加し、82億3,371万円となりました。これは主に、短期借入金や支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、9億5,658万円増加し、215億2,111万円となりました。これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年1月26日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,212,988	4,935,354
受取手形及び売掛金	4,603,336	5,670,026
商品及び製品	5,401,063	6,896,281
仕掛品	388,716	389,126
原材料及び貯蔵品	1,106,796	1,237,795
繰延税金資産	236,848	222,144
その他	485,999	494,315
貸倒引当金	△2,389	△2,652
流動資産合計	17,433,359	19,842,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,628,004	5,685,925
減価償却累計額	△3,271,378	△3,308,219
建物及び構築物(純額)	2,356,625	2,377,705
機械装置及び運搬具	2,595,145	2,626,129
減価償却累計額	△2,014,097	△2,133,327
機械装置及び運搬具(純額)	581,048	492,802
土地	1,667,180	1,667,180
建設仮勘定	49,172	36,252
その他	2,816,051	2,741,988
減価償却累計額	△2,521,376	△2,455,039
その他(純額)	294,674	286,948
有形固定資産合計	4,948,700	4,860,888
無形固定資産		
のれん	249,629	142,645
その他	355,396	373,498
無形固定資産合計	605,026	516,143
投資その他の資産		
投資有価証券	2,254,477	2,727,964
退職給付に係る資産	1,162,221	1,186,346
繰延税金資産	107,496	106,073
その他	469,895	523,117
貸倒引当金	△9,821	△8,099
投資その他の資産合計	3,984,268	4,535,401
固定資産合計	9,537,996	9,912,434
資産合計	26,971,356	29,754,825

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,994,809	2,758,497
短期借入金	720,000	1,950,000
1年内返済予定の長期借入金	286,000	159,000
未払法人税等	407,236	257,641
未払金	561,095	591,741
役員賞与引当金	20,130	20,757
その他	1,032,989	967,538
流動負債合計	5,022,261	6,705,177
固定負債		
長期借入金	16,000	—
繰延税金負債	703,041	864,910
退職給付に係る負債	362,543	370,934
資産除去債務	17,413	20,363
その他	285,566	272,329
固定負債合計	1,384,565	1,528,537
負債合計	6,406,826	8,233,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	2,507,159	2,507,159
利益剰余金	19,192,631	19,782,951
自己株式	△3,567,564	△3,567,695
株主資本合計	20,110,916	20,701,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	616,915	945,649
繰延ヘッジ損益	556	△506
為替換算調整勘定	△399,328	△391,939
退職給付に係る調整累計額	△66,904	△80,820
その他の包括利益累計額合計	151,238	472,383
新株予約権	51,848	70,847
非支配株主持分	250,526	276,773
純資産合計	20,564,529	21,521,110
負債純資産合計	26,971,356	29,754,825

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月21日 至平成29年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月21日 至平成30年3月20日)
売上高	25,207,078	25,456,689
売上原価	15,661,550	15,426,703
売上総利益	9,545,527	10,029,985
販売費及び一般管理費	8,336,125	8,515,238
営業利益	1,209,402	1,514,747
営業外収益		
受取利息	6,958	8,011
受取配当金	40,486	40,884
為替差益	55,400	—
受取賃貸料	24,900	115,009
その他	38,019	22,001
営業外収益合計	165,765	185,907
営業外費用		
支払利息	16,591	6,434
為替差損	—	152
賃貸収入原価	21,934	35,335
その他	5,666	6,537
営業外費用合計	44,192	48,461
経常利益	1,330,975	1,652,193
特別利益		
固定資産売却益	202	169
特別利益合計	202	169
特別損失		
固定資産売却損	19	—
固定資産除却損	2,353	5,937
減損損失	48,288	—
特別損失合計	50,661	5,937
税金等調整前四半期純利益	1,280,516	1,646,425
法人税、住民税及び事業税	329,022	435,553
法人税等調整額	87,381	39,692
法人税等合計	416,404	475,246
四半期純利益	864,112	1,171,179
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,089	12,406
親会社株主に帰属する四半期純利益	848,023	1,158,772

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月21日 至 平成29年3月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年6月21日 至 平成30年3月20日)
四半期純利益	864,112	1,171,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	378,802	328,733
繰延ヘッジ損益	1,791	△1,062
為替換算調整勘定	△62,714	21,231
退職給付に係る調整額	△10,589	△13,915
その他の包括利益合計	307,289	334,986
四半期包括利益	1,171,402	1,506,165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,169,813	1,479,917
非支配株主に係る四半期包括利益	1,588	26,247

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「文具事務用品事業」の海外製造子会社で発生する作業屑の売却取引は、従来、軽微なものとして簡便的に「営業外収益」の「屑売却益」として表示しておりましたが、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より、原則的な処理である製造原価の控除としております。この変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。なお、製造原価計算に与える影響が小さいことから、すべて「売上原価」の控除として処理しております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「屑売却益」として表示していた45,633千円は、「売上原価」の控除として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年6月21日 至平成29年3月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,647,342	5,559,736	25,207,078	—	25,207,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	71,342	88,090	159,433	△159,433	—
計	19,718,684	5,647,827	25,366,511	△159,433	25,207,078
セグメント利益	1,012,997	185,455	1,198,453	10,948	1,209,402

(注) 1. セグメント利益の調整額 10,948千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「文具事務用品事業」において、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなったポータブックの金型等について、回収可能価額をゼロと見積り、減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、48,288千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年6月21日 至平成30年3月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,756,082	5,700,606	25,456,689	—	25,456,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	54,838	101,235	156,074	△156,074	—
計	19,810,920	5,801,842	25,612,763	△156,074	25,456,689
セグメント利益	1,419,644	76,235	1,495,880	18,866	1,514,747

(注) 1. セグメント利益の調整額 18,866千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「インテリアライフスタイル事業」に含めていた当社の連結子会社である錦宮(香港)有限公司は、「文具事務用品事業」の量的な重要性が増したため区分を変更しております。

また、「文具事務用品事業」の海外製造子会社で発生する作業屑の売却取引は、従来、軽微なものとして簡便的に「営業外収益」の「屑売却益」として表示しておりましたが、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より、原則的な処理である製造原価の控除としております。この変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。なお、製造原価計算に与える影響が小さいことから、すべて「売上原価」の控除として処理しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分および表示により作成したものを記載しております。